

一般国道三三二号豊見城道路 (瀬長―豊崎区間)開通

仕事の窓

開発建設部

BUSINESS REPORT 4

当初予定の三月末より
三週間早く開通！

事業概要



沖縄西海岸道路（読谷村～糸満市延長約五〇キロメートル）の一部に位置づけられている豊見城道路は、豊見城市瀬長から糸満市西崎に至る延長四・〇キロメートルの道路です。平成元年に事業化され、この道路が開通することにより、交通渋滞の緩和はもとより、沖縄県最大の広域交通拠点である那覇空港と連絡することにより、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクトを支援する道路となります。

標準断面図

高架部



土工部



設計諸元

道路企画	第4種 第1級	延長	4,000m
区間	豊見城市瀬長至：糸満市西崎	設計速度	60km/h
		車線数	4車線

整備効果

● 連絡強化

広域交通拠点である那覇空港からあしびなーまでの所要時間が現在約二〇分かかっているところ、約五分短縮し、十五分で連絡します！

● 渋滞緩和

渋滞損失時間が一五六万人時／年から一三五万人時／年となり（約十四％減）、国道三三二号（赤嶺～兼久間）の渋滞が緩和します。

※渋滞損失時間とは、交通渋滞のため、余分にかかってしまう所要時間のことです。つまり、渋滞損失時間を減らせば、有効に使うことが出来る時間が増えるということです。



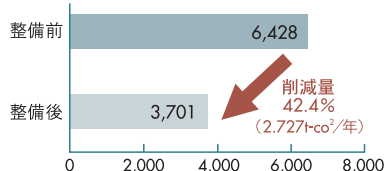
所用時間が5分短縮



● 環境改善

国道三三二号の交通が分散されることで、自動車から排出されるCO₂が現道区間において四割（二千七百二七トンCO₂/年）削減されます。このCO₂排出削減量の二千七百二七トンCO₂/年を、森林に換算すると、約五〇四ヘクタール分（奥武山公園の約二十三倍）となります。また、エアコン消費時間に換算すると、沖縄県全世帯が約八日間エアコンを我慢することと等しくなります。

CO₂年間排出量と削減量（豊見城市役所～瀬長）



凡例
：渋滞損失時間
縦軸：渋滞損失時間
横軸：場所

